

カリキュラム

機構施設名：北海道職業能力開発促進センター
 実施機関名：株式会社日本マンパワー

B. 組織マネジメント	組織力強化	現場社員のための組織行動力向上
--------------------	--------------	------------------------

コースのねらい	企業の仕組みや、業界の背景について理解を深め、一般社員のうちから経営者の視点を理解し、上司の補佐や後輩の育成を行い、生産性向上のためのビジネス感覚を養うことにより、自ら主体的に社内の問題発見・業務改善を現場から発信するために必要な知識、技能を習得する。
----------------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
	1	企業組織と生産活動	(1)企業経営の仕組み 企業の成り立ちや組織構造、利益の仕組みを理解し、経営がどのように成り立つのかを学ぶ。 (2)生産活動の目的と目標 (演習あり) 生産性向上や品質維持、コスト削減といった生産活動の目的を整理し、組織としての目標と個人の業務がどのように結びつくかを考える。 (3)経営者視点とコスト意識 経営層がどのような視点で事業を運営しているのかを理解し、コスト意識を持つことの重要性を学ぶ。	2.0
	2	状況変化に対応する現場力	(1)現場力を高めるための要素 現場力を構成する「コミュニケーション力」「課題発見力」「問題解決力」などの要素を整理し、現場での実践方法を学ぶ。 (2)問題発見と改善姿勢 (演習あり) いち早い問題発見や改善に向け必要な力を養う、PDCAサイクルを体験する。 (3)現場力の継承と人材育成 次世代へ引き継ぐためのポイントや、OJT・メンター制度の活用方法を考え、継承の意識を持つことの重要性を学ぶ。	2.0
	3	フォロワーシップと組織行動力	(1)フォロワーシップとは 組織におけるフォロワーの重要性を理解する。リーダーシップとの違いを知る。 (2)フォロワーの役割 現場で主体性を発揮し組織の成長に貢献するフォロワーとしての具体的な役割と行動を学ぶ。 (3)管理者への提案方法 (演習あり) 上司や管理者に対して効果的に提案を行うためのスキル(論理的な伝え方、データの活用、タイミングの見極め)を学ぶ。	2.0
合計時間			6.0	

カリキュラム作成のポイント ※訓練当日の進行はカリキュラムに記載されている順番と異なる場合があります。

企業の仕組みや自身の役割認識から求められる行動について、個人ワーク、グループディスカッション等を通して楽しく、分かりやすく理解できるようカリキュラムです。